

(様式第 11 号) (第 14 条関係)

令和 2 年度 「みんなの力でつくるまち」活動支援事業評価報告書

| | |
|--------------|------------------------------|
| 事業名 | 登山道とトレイルの美化から始めるエコツーリズム |
| 団体名 (連絡先) | 軽井沢ネイチャークラブ (軽井沢ネイチャークラブ) |
| 総事業費 | 185,250 円 (うち補助金: 92,000 円) |

事業内容

軽井沢町の観光資源でもある登山道やトレイルの中でも、災害の影響を受けている箇所やそもそも情報が少なく不明瞭な箇所が存在する。本事業では軽井沢町の主な登山道・トレイルの現地状況調査に基づき、得られた結果から正しく深い情報を発信し、トレイルを通じた安心で活発なエコツーリズムへと繋げる活動を行った。

- 構成員による軽井沢町内の主な登山道の調査及び美化活動 (8 登山道・全 29 回)
- トレイル情報のまとめと情報発信 (ホームページ及び登山・ハイキング活動記録共有 SNS を通じて)



【通行再開後の石尊山山頂より】

事業効果

8つの登山道(石尊山・離山・矢ヶ崎山・小浅間山・留夫山・一ノ字山・愛宕山)を現地調査しその周辺状況を詳細に把握することができた。調査結果や活動記録を蓄積した結果、軽井沢町内にある美しく魅力のあるトレイル情報を集約し、情報発信を行うプラットフォームの整備が完了した。情報発信を開始した2020年9月以降、ホームページ及びSNSの訪問者は増加しており、次年度以降も継続的に続く一定の成果が得られたと考えている。

【目標・ねらい】

- 軽井沢町の観光資源となる登山道・トレイルの状況を正確に把握する。
- 軽井沢町内の登山道・トレイルの魅力を発信する。
- 軽井沢町内の登山道・トレイルを通じたエコツーリズムの促進に貢献する。

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

四季を通して継続的な現地調査をしながら情報発信を続け、軽井沢の魅力のひとつを深く伝える役割を担う事業としていきたい。将来的には軽井沢町の観光情報を公式にサポートする事業となるよう、新型コロナウイルス感染症の終息後には参加者を募るイベントなども開催し、より多くの人々が参加できる活動へと進化させたい。また、条件が整えば自然災害等の影響で修復が必要と思われる箇所の調査情報をもとに、実際の整備アクションへも繋がる活動に発展させたい。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。